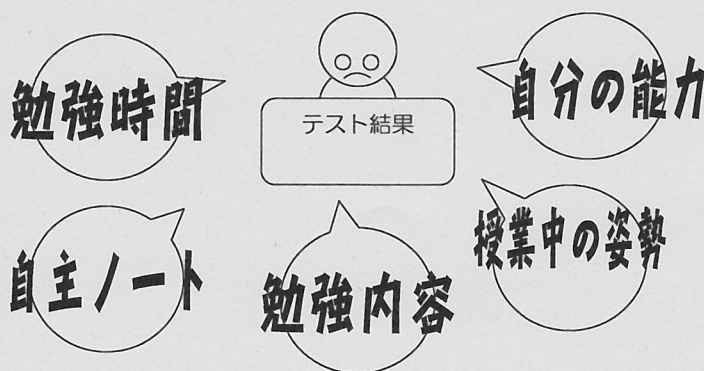


中間テストがんばりました ～ 因果応報じゃないと困るよね ～

初めての中間テスト。中学校の勉強スタイルを、ひしひしと感じた瞬間だったのではないのでしょうか。中間テストの説明と範囲の提示、そして計画書の作成と、中間テストに向けての準備をしてきたみんななら、きっと確実な手応えを得られたのではないかと思います。また、逆に、テスト直後だけに、後悔もたっぷりしていることと思うのです。

そこで、結果が戻ってくる前に、いくつか心の準備をしておくのがいいと考えます。以下の図を見て

下さい。テスト結果を受け取った生徒の心の動きを簡単にまとめたものです。キーワードは「因果応報」です。「因果応報」とは、『仏語。前世あるいは過去の善悪の行為が因となり、その報いとして現在に善悪の結果がもたらされること。』とあり、簡単に言えば、これまでの「行動」が、今の「結果」につながっていることを示しています。



テストの「結果」が良くなかったとき、多く人は、「自分の能力」のせいにしてしまいがちです。しかし、自分の能力の限界まで自分が努力してきたのか、その時間に出し尽くしていたのか？と考えると、「自分の能力」が「結果」に結びついていると考えるのは危険な感じがします。となれば、これまでの中間テストに向けての姿勢に「結果」が大きく結びついてくると考えるのが妥当でしょう。

では、逆に、自分の予想よりも「結果」が良かった時は、当然のように「自分の能力」が優れているからと言うことを考える人は少なく、これまでの「行動」の良かったところを「結果」に結びつけて考えていきます。当然、期末テストでも同じような行動をするわけですから、調子よく「結果」を出し続けていけるようになります。

今日から、テストが返却され始めます。自分のこれまでの行動がどのように「結果」に結びついているかをしっかりと見定めて、期末テストに向けて新たなスタートを切りましょう。

